

栄養管理室

内海繁敏

栄養管理室は、患者の高齢化や生活習慣病の有病者増加に伴い、栄養状態を改善・維持し、免疫力低下の防止や治療効果及び QOL 向上等を推進する観点から、傷病者に対する栄養管理・栄養指導を積極的に行っている。

今年度の診療報酬改定により、入院基本料等加算に①栄養サポートチーム加算、②摂食障害入院医療管理加算が新設された。

栄養サポートチーム加算は、栄養障害の状態にある患者又は栄養管理を行わなければ栄養障害の状態になることが見込まれる患者であって、栄養管理実施加算を算定している患者が対象となっている。(施設基準 H22.4.1 取得)

本加算は、従来の「栄養管理実施加算」とは別に設けられ、かつ栄養管理実施加算に上乗せして両方を算定できる。

摂食障害入院医療管理加算は、摂食障害による著しい体重減少が認められる患者で BMI (Body Mass Index) が 15 未満である患者に対して、医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理技術者、管理栄養士等による集中的かつ多面的な治療が計画的に提供された場合に算定できる。(施設基準 H22.7.1 取得)

今年度、栄養管理室で行った主な取り組みについて、上述の 2 件を含め下記に示す。また、これらの取り組みは各種学会等にて報告を行った。

〈今年度の取り組み〉

1. 栄養サポートチーム加算

各病棟リンクナースが抽出した対象患者栄養チェックリストを基に、専任（医師、薬剤師、看護師）と専従（管理栄養士）による事前カンファレンスを行った後、抽出患者を回診する。回診後に専従が栄養治療実施計画&報告書を作成する。

2. 栄養食事指導

手術後患者を対象とした外来栄養指導を積極的に実施し、加算指導件数を約 50%増加できた。外来指導では、電気インピーダンス法 (INBODY) による体液量、体脂肪量、体蛋白量等を測定し、体組成評価も併せて実施している。

3. 特別食加算

経管栄養による栄養補給であっても、加算対象病名がある場合は算定可能な食事オーダーを可能とし、加算率を約 5%上昇できた。

4. 術前経口補液食

手術パスへの導入もすすみ、月間約 260 食程度の安定的な食事オーダー数となっている。食数オーダーの増加は入院時食事療養 (640 円/食) の増収に繋がっている。また、今年度国立病院機構本部が行う QC 活動において特別優秀賞を受賞した。

5. Nutrition Week

職員の栄養療法に対する知識・意識の高揚と、栄養不良患者に対する医療の質的向上に寄与することを目的に、5/31~6/4 の 5 日間開催し講義には延 500 名の参加があった。

6. 食事摂取基準 2010 年版による見直し

厚生労働省から発表された「日本人の食事摂取基準」(H22 年度～H26 年度使用)に、病院食の栄養基準・食事摂取量を準拠した新食事箋規約を作成した。

7. NST 活動

今年度も NST 活動とし、チームの活性化と栄養療法の質的向上を目指し、NST セミナーを開催した。

7月2日 「入院患者の栄養管理について－SGA と ODA－」：栄養管理室

9月3日 「使ってみよう電動歯ブラシ」：口腔ケアグループ

10月1日 「低栄養患者を見つけ出そう！&トラブルのない経腸栄養管理を目指そう！」：SGA・経腸栄養グループ

11月5日 「栄養アセスメントの血漿蛋白について」：検査科

12月3日 「経管からの薬剤投与」：薬剤科

1月7日 「見つけよう！嚥下困難患者。使ってみよう！新摂食嚥下スクリーニングシート」：嚥下チーム

2月4日 「必要栄養量の算出 一症例検討」：栄養管理室・薬剤・医師・看護

3月4日 「気管カニューレの管理」「NST サポートチーム回診の報告」：医師・栄養管理室

【2010 年度研究発表業績】

A-2

内海繁敏：化学療法最前線ーがん治療の現状と栄養療法ー消化管毒性を支える栄養管理④味覚異常「臨床栄養」桑原節子、Vol.117 No.4 (臨時増刊号)：421-425、医歯薬出版、東京、2010 年 9 月 10 日

大池教子：臨床栄養学ー疾病の成り立ちー「ナーシング・グラフィカ⑥」關戸啓子、第 2 版第 2 刷：114-120、メディカ出版、大阪、2011 年 2 月 10 日

A-4

森田有美、北田有紀、山本真由、鳥山明子、松尾彩、今西健二、田中勝久、内海繁敏、辻仲利政：術前経口補液食提供開始と患者満足度調査「医療の広場」柴山弘司、第 51 巻第 2 号：39-41、(財)政策医療振興財団、2011 年 2 月 10 日

B-3

大池教子：栄養サポートチームの新たな取り組みを目指してー当院における栄養サポートチーム加算導入のための試みー。第 64 回国立病院総合医学会、福岡、2010 年 11 月

松尾彩、大池教子、近藤美由紀、藤田和代、庄野裕志、島田志美、西野万寿子、林伊吹、辻仲利政：栄養サポートチーム加算算定に対応する栄養管理体制の試み。第 26 回日本静脈経腸栄養学会、名古屋、2011 年 2 月

B-4

北田有紀、東堂龍平、森田有美、堀内正行、久保孝紀、山本真由、鳥山明子、松尾彩、今西健二、

田中勝久、内海繁敏：当院における糖尿病食事会の取り組み。第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会、岡山、2010 年 5 月

内海繁敏、林伊吹、西野万寿子、辻仲利政、NST チーム：手術前の絶食は必要？「術前経口補液食」で手術負担の軽減を図る！。第 64 回国立病院総合医学会、福岡、2010 年 11 月

北田有紀、東堂龍平、森田有美、堀内正行、久保孝紀、山本真由、鳥山明子、松尾彩、大池教子、内海繁敏：外来患者を対象とした糖尿病教室における食事会の取り組み。
第 64 回国立病院総合医学会、福岡、2010 年 11 月

山本真由、森田有美、谷崎典子、北田有紀、鳥山明子、松尾彩、大池教子、庄野裕志、近藤美由紀、藤田和代、西野万寿子、福井好枝、内海繁敏、藤谷和正、辻仲利政：当院における NAC (nutrition assessment conference) 11 年目の現状。第 64 回国立病院総合医学会、福岡、2010 年 11 月

松尾彩、大池教子、森田有美、鳥山明子、古澤三代子、青野幸余、林伊吹、辻仲利政、東堂龍平、高橋俊樹：心臓血管外科手術後に摂食嚥下障害を呈する患者のチーム介入について。第 14 回日本病態栄養学会、横浜、2011 年 1 月

森田有美、大池教子、小出雅雄、林伊吹、辻仲利政：著明な低リン血症を呈した神経性食欲不振症患者に対する栄養管理。第 26 回日本静脈経腸栄養学会、名古屋、2011 年 2 月

B-6

鳥山明子、今西健二、森田有美、三賀森学、佐々木桂子、三田英治、東堂龍平、辻仲利政：消化吸収不良症候群を呈した胃切除後患者に対するアプローチと対応について。第 5 回大阪 NST 研究会、大阪、2010 年 7 月

山本真由、森田有美、谷崎典子、北田有紀、鳥山明子、松尾彩、大池教子、庄野裕志、近藤美由紀、藤田和代、西野万寿子、福井好枝、内海繁敏、藤谷和正、辻仲利政：当院における NAC (nutrition assessment conference) 11 年目の現状。第 7 回関西がんチーム医療研究会、大阪、2010 年 9 月

田中勝久、北田有紀、山本真由、大谷弥里、鳥山明子、松尾彩、大池教子、森岡亜紀子、正岡美幸、黒田博美、高田聖子、梶原絹代、三嶋秀行、辻仲利政：外来化学療法施行時患者に対する栄養評価及び栄養介入システムについて。第 8 回関西がんチーム医療研究会、大阪、2011 年 3 月